



長居検査員。おはようございます。
今回は「中間検査」の概要と、その効果について
教えていただきたいのですが？

はい。わかりました。
まず、中間検査の目的ですが、中間検査は出来形・品質及び適正な施工を確保するため、
工事施工中の重要な変化点で実施する検査です。

- (1) 竣工検査時に出来形・品質の確認が困難となる工事
- (2) 債務負担工事等で工期が1年以上となる工事
- (3) その他公所長・出納局長が必要と認める工事



中間検査の対象となる工事のうちで、竣工検査時に出来形・品質の確認が困難となる
工事とは、どのようなものですか？

では、代表例を紹介します。

- (1) 共通工事・・・① 指定仮設物を撤去すると完成検査が困難になるとき
② 工事施工中の仮設足場を使用しなければ確認出来ないもの
- (2) 基礎工事・・・杭基礎（鋼管杭・鋼矢板等）、場所打杭・深礎杭等の鉄筋組立等
（完了又は施工中）
- (3) 鉄筋コンクリート構造物工事・・・BOXカルバート、擁壁等の鉄筋（配筋）（完了又は施工中）
- (4) 鋼構造物工事・・・橋梁桁、水門扉、可動堰やノージット等の工場製作及び仮組立完了

他に、ほ場整備、トンネルや建築・設備工事等もありますよ。



次に中間検査の基本方針等があれば教えていただきたいのですが？

工事検査課では、平成27年6月24日付けで「中間検査実施の方針について」を
出していますが、

- (1) 別途に検査会場を設営する必要はなく、原則として施工現場で実施します。
- (2) 中間検査の資料として、出来形・品質及び適正な施工に関する数値等が確認できる書類を
準備してください。
- (3) 中間検査で確認した出来形・品質等は竣工検査では原則として実施しません。
- (4) 中間検査受検中でも、現場の施工は実施できます。
- (5) 中間検査の日程変更は可能で、工事進捗にあわせて検査員と密に連絡を図り日程を決定
します。
- (6) 中間検査を実施した検査員が原則として竣工検査も実施します。
として、竣工検査より簡便に実施することとしています。



次に、中間検査の効果（メリット）について、
教えていただきたいのですが？

では、中間検査の3つの効果（メリット）について紹介します。

- (1) 品質・出来形の向上
- (2) 不適合工事発生リスクの軽減
- (3) 竣工検査時の負担軽減

「特に年末や年度末の竣工検査が集中する時期には効果がありますよ。」

昨年度は工事検査課発足以来最多の18件の不適合工事が発生しました。
一方で中間検査に不適合な状態を確認されたが、竣工検査時までには是正することにより不適合を免れた事例もあり、不適合工事の発生防止に中間検査は有効です。



中間検査は品質・出来形の向上のほか不適合工事防止に効果的な検査であると分かり、大変参考になりました。

そのほか中間検査で注意しなければいけない事がありますか？

計画的な中間検査を実施するためには、中間検査の請求は、竣工検査が集中する月末を避けるよう工程管理をお願いします。



また中間検査は、若手監督員の「技術力の向上」にも繋がりますので、積極的に中間検査を活用してください。



ありがとうございました。

次回は「建築関係」の検査のポイントについて、教えてください。

わかりました。「建築関係」の検査のポイントとして、「建築」・「設備」を2回に分けて紹介します。



●本日のポイント

中間検査は出来形・品質及び適正な施工を確保するため、工事施工中の重要な変化点で実施する検査です。特に竣工検査時に出来形・品質の確認が困難となる工事は中間検査の活用をお願いします。また、中間検査は不適合工事の発生リスク軽減にも繋がりますので、積極的に活用しましょう。

【関係資料】

- 1 中間検査実施要領
- 2 中間検査実施要領の運用【別表】（第4条関係）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/55015d/>

【登場人物の設定】

○福島県 出納局 工事検査課



：長居(カ)検査員



：若井(カ)検査員